

して、「自然にいとむ少年のつどい」「少年スキー教室」を開催し、少年期にふさわしい冒険心と夢を育て、スキー実技の向上と豊かな人間性の育成を目的とした各事業は効果的に実施することができた。

③ きびしい会津の冬を体験しながら、親と子のふれあいを深め、他家族との親睦を図る目的で開催した「冬山にいとむ親子のつどい」「親子白銀のつどい」は、参加者の共感を深くし、効果的に終了できた。

④ 唯一の補助事業である「レクリエーション実技指導者研修会」は今後ますます求められる青少年団体活動の指導者育成のために、充実した実技研修を進めることができた。

(5) 施設・設備の保全と事故防止の徹底

① 防災組織を確立し、責任体制を明確にして、日常および月例点検を強化し、施設・設備の保全に努めた。

② 利用団体の事故防止のため、特に事前研修会・事前打合せ会時に、引率指導者に対する指導に努め、また具体的な活動の各場面で指導の徹底を図った。

③ 防災訓練を定期的に開催し、防災器具、機材の操作法の訓練を実施すると共に、広大な活動敷地の保全と山火事防止のための野外パトロールの適時実施に努めた。

④ 関係機関による建物の防火査察、保全点検、環境衛生等を依頼し、建物の保全と事故防止に努めた。

⑤ 月例給食委員会を開催し、食中毒の防止、予防指導と食品の衛生管理に努め、また調理員の衛生指導の徹底を図った。

⑥ 野外活動コースおよび野外施設の安全点検と有害昆虫の駆除に努め、野外活動の事故防止に努めた。

(6) 職員研修の充実と資質の向上

① 少年自然の家の望ましい運営に関する所内研修を計画的に実施し、職員の資質の向上を図った。

② 研修会・講習会への参加を積極的に進め、施設運営や団体指導についての研修を深めた。

③ 全国および東北・北海道地区各施設との連携を密にし、県内社会教育施設との協力を深め、研修効果を高めることができた。

④ 入所団体、児童生徒の意欲を高め自主的活動を促進するための指導助言について研究を進めた。

⑤ 施設利用の教育効果を高めるため、指導資料の改善改訂を進め、特色ある活動事例の集積に努めた。

3 職員組織

職名	所長	次長	主査	主事	主任社会教育主事	指導主事	社会教育主事	運転手兼用務員	計
人員	1	1	1	1	1	5	1	1	12

第2節 施設・設備等の概要

1 所在地

福島県河沼郡会津坂下町大字八日沢字東山4495-1

2 敷地面積 251.432㎡

3 建物

(1) 本館建物

① 管理研修棟（鉄筋コンクリート造、2階建） 998.8㎡

② プレイホール（鉄筋高床式、平屋建） 913.3㎡

③ 宿泊棟（鉄筋コンクリート造、2階建） 2,471.5㎡

④ アセンブリホール（鉄筋コンクリート造、平屋建） 405.9㎡

⑤ 機械室棟（鉄筋コンクリート造、3階建） 261.4㎡

⑥ 廊下（鉄骨造） 99.8㎡

計 5,150.7㎡

(2) 野外建物

① 浄化槽（鉄筋コンクリート造、平屋建） 16.6㎡

② ロッジ（木造平屋建、10棟、延350.0km²） 154.0㎡

③ 野外活動管理センター（鉄筋コンクリート、平屋建）

④ 炊事場（鉄筋コンクリート造、平屋建） 84.0㎡

⑤ 高置水槽（鉄筋コンクリート造、平屋建） 36.0㎡

⑥ 薪倉庫（コンクリートブロック造、平屋建） 9.9㎡

⑦ 車庫（鉄筋コンクリート造、平屋建） 49.6㎡

⑧ 野外便所（鉄筋コンクリート、平屋建） 53.8㎡

計 753.9㎡

(3) 公舎

所長公舎（木造モルタル造、平屋建） 89.4㎡

4 宿泊施設

・本館 300名

・ロッジ 150名

・野営場 900名（テント15張）

5 野外活動施設

(1) フィールドアスレチック（25ポイント、約1km）

(2) 野外活動コース

① フィールドワーク 3コース

② オリエンテーリング 6コース

③ ハイキングコース 4コース

④ ナイトハイキングコース 3コース

⑤ 文化財・史跡めぐり 4コース

⑥ ウォークラリーコース 4コース

⑦ コンパスラリーコース 6コース

⑧ サイクリングコース 4コース

(3) つどいの広場、ふれあいの広場、運動広場

(4) 野外照明 11基

(5) 営火場 4か所

(6) 野営場 2か所

(7) その他

スキー・そり乗り場、冒険の森、昆虫の森

6 おもな備品

(1) 体育用備品

① 屋内卓球台、バドミントン、ドッジボール、ミニバスケットボール、タンバリン、跳